

### ◆知的要求が高まり、自分なりに考え行動できるころ（目安：5才ころから）

話し言葉が確立します。また、年下の子の面倒をみるなど「思いやりの心」がもてるように。自分で読んだり書いたりすることにも興味が出てくる時期です。お友だちとの関係も深まります。

絵本選びのポイント→ 主人公の心の動きが描かれている絵本。  
自然科学や平和・命など、さまざまなテーマの絵本を。



書名	著者名	出版社	請求記号
十二支のはじまり	岩崎 京子／文 二俣 英五郎／画	教育画劇	E7・ホムカ
せかいでいちばんつよい国	デビッド・マッキー／作 なかがわ ちひろ／訳	光村教育図書	Eマ
ちいさいおうち	ぼーじにあ リー ぼーとん／ぶんとえ いしい ももこ／やく	岩波書店	Eバ
はははのはなし	加古 里子／ぶん・え	福音館書店	Eカ
りゆうがあります	ヨシタケ シンスケ／作・絵	PHP研究所	Eヨ

### ◆自分とは異なる人の特性や持ち味に気づくころ（目安：6才ころから）

思考力が高まり、自分の内面を見つめる一方、友達の特性や、時の流れ、社会の変化も理解できます。一人読みができるようになって、まだまだ身近な大人との読み聞かせは楽しい時間です。

本選びのポイント→ 主人公の達成感や成長に共感できる本。  
科学絵本や詩・図鑑など知識や世界が広がる本。



書名	著者名	出版社	請求記号
ねんくみのくに	川島 敏生／写真 文	アリス館	Eカ
おしれのぼうけん	ふるた たるひ／さく たばた せいいち／[画]	童心社	91フ
じめんのうえとじめんのした	アーマ=E=ウエバー／ぶん・え 藤枝 淳子／やく	福音館書店	Eウ
日本語オノマトペのえほん	高野 紀子／作	あすなろ書房	8I
ふたりはいつも	アーノルド ローベル／作 三木 卓／訳	文化出版局	Eロ

### ◆紙芝居

紙芝居の魅力は、読み手と聞き手が向き合いコミュニケーションを取りながら物語を進められること。おはなし会だけでなく、おうちでも気軽に楽しんでみませんか？

紙芝居を演じるポイント→ 紙芝居のぬきさしで場面が展開します。間の取り方や、タイミングを楽しみながら、物語の世界を共有しましょう。



書名	著者名	出版社	請求記号
さるとかに	松谷 みよ子／脚本 西巻 茅子／絵	童心社	Kニホムカ
ダンゴムシのともだち	得田 之久／脚本・絵	童心社	Kニホソウカ
でんしゃがくるよ	とよた かずひこ／脚本・絵	童心社	Kニホソウカ
ふとんやまトンネル	長野 ヒデ子／画 那須 正幹／作	教育画劇	Kニホソウカ
みんなでぽん！	まつい のりこ／脚本・画	童心社	Kニホソウカ

## こどもの読書週間資料展

# 本ではぐくむ

# こどものこころ



こどもは本が大好きです。  
こどもと大人が本を介してゆったり過ごす時間は、  
こどもの成長を支える宝物です。  
成長期ごとにおすすめの本を紹介します。

### ◆ねんねのころ（目安：0才前半ころから）

やさしい声やあたたかな語りかけが、赤ちゃんの心の栄養へとつながります。「こもりうた」や「わらべうた」など、身近な人の声による心地よい体験から、信頼感や安心感が生まれます。

絵本選びのポイント→ 背景はなく、色や輪郭がはっきり大きく描かれている絵本。人や動物が正面を向いている絵本がおすすめです。



書名	著者名	出版社	請求記号
いっばいうたって！	ましま せつこ／絵	こぐま社	76
いないいないばあのえほん	安野 光雅／作	童話屋	Eア・アカチャン
おせんべやけたかな	こが ようこ／構成・文 降矢 なな／絵	童心社	Eフ・アカチャン
ぼんぼんポコポコ	長谷川 義史／作絵	金の星社	Eハ・アカチャン
もこもこもこ	谷川 俊太郎／作 元永 定正／絵	文研出版	Eモ・アカチャン

### ◆はいはい・おすわり・たっちのころ（目安：0才後半ころから）

「ばぶー」などのなん語を発し、かんたんな言葉の意味がわかりはじめます。手先が器用になり、指さしができるようになります。動作や言葉のまねっこも大好きです。



絵本選びのポイント→ 赤ちゃんの身近な物が出てくる絵本。リズムカルな言葉や擬音語、擬態語などのオノマトベ絵本もおすすめです。

書名	著者名	出版社	請求記号
いぬがいっばい	グレース スカール／さく やぶき みちこ／やく	福音館書店	Eス・アカチャン
ぎゅぎゅぎゅー	駒形 克己／作 絵	KADOKAWA	Eコ・アカチャン
たまごのえほん	いしかわ こうじ／作・絵	童心社	Eイ・アカチャン
ぼんちんぱん	柿木原 政広／作	福音館書店	Eカ・アカチャン
ママだいすき	まど みちお／文 ましま せつこ／絵	こぐま社	Eマ・アカチャン

### ◆とことこ一人歩きのころ（目安：1才ころから）

幼児期へ移行する頃。少しの手助けと導きがあれば、自分でできることも増えてきます。また、言葉の意味が理解ができるようになります。



絵本選びのポイント→ 身近な生活が描かれ、文章が簡潔な絵本。「のりもの」や「たべもの」など、好みのものが出てくる絵本がおすすめです。

書名	著者名	出版社	請求記号
おはよう	なかがわ りえこ／さく やまわき ゆりこ／え	グランまま社	Eヤ・アカチャン
しろくまちゃんのほっとけーき	わかやま けん／[絵]森 比左志／[文]わだ よしおみ／[文]	こぐま社	Eワ・アカチャン
どんどこももんちゃん	とよた かずひこ／さく・え	童心社	Eト・アカチャン
まかせとけ	三浦 太郎／[作]	偕成社	Eミ・アカチャン
まるくておいしいよ	こにし えいこ／さく	福音館書店	Eコ・アカチャン

### ◆ひとりで！じぶんで！全身運動が活発なころ（目安：2才ころから）

感情が豊かになり、自分の気持ちや行動を体で表現します。「いや」「もっと」などを言葉で表せるようになる頃。話せる言葉がどんどん増えていきます。

絵本選びのポイント→ 絵の中から言葉やメッセージを読み取れるようになります。始まりと終わりがはっきりしている絵本がおすすめです。



書名	著者名	出版社	請求記号
14ひきのあさごはん	いわむら かずお／作	童心社	Eイ
すっぽんぽんのすけ	もとした いづみ／作 荒井 良二／絵	鈴木出版	Eア
ちびゴリラのちびちび	ルース・ボーンスタイン／さく いわたみみ／やく	ほるぶ出版	Eボ
ねずみくんのチョッキ	なかえ よしを／作 上野 紀子／絵	ポプラ社	Eウ
パンツのはきかた	岸田 今日子／さく 佐野 洋子／え	福音館書店	Eサ

### ◆なぜ？どうして？ごっこ遊びが盛んなころ（目安：3才ころから）

自分の体験を「ごっこ遊び」に取り入れるようになります。お友だちの存在を認識し、「かして」「いいよ」などの会話から、考える力や相手の気持ちを想像する力が育ちはじめます。



絵本選びのポイント→ 身近な出来事が題材の絵本がおすすめです。少し長いお話も楽しめます。

書名	著者名	出版社	請求記号
おとうさんとさんぽ	にしかわ おさむ／ぶん・え	教育画劇	Eニ
ぬいぐるみおとまりかい	風木 一人／作 岡田 千晶／絵	岩崎書店	Eオ
ノラネコぐんだんパンこうじょう	工藤 ノリコ／著	白泉社	Eク
ほね、ほね、きょうりゅうのほね	バイロン・パートン／さく かけがわ やすこ／やく	ポプラ社	Eバ
わにさんどきっ はいしゃさんどきっ	五味 太郎／作絵	偕成社	Eゴ

### ◆できるかな？行動や結果を予測しはじめるころ（目安：4才ころから）

「自然・物・数・しりとり・言葉あそび」など、興味の幅が広がっていきます。相手の気持ちが理解でき、人とのつながりが豊かになります。決まりや社会のルールもわかるように。



絵本選びのポイント→ 現実ばなれした物語の世界も楽しめます。昔話絵本もおすすめです。

書名	著者名	出版社	請求記号
おふろだいすき	松岡 享子／作 林 明子／絵	福音館書店	Eハ
かいじゅうたちのいるところ	モーリス センダック／さく じんぐう てるお／やく	富山房	Eセ
999ひきのきょうだいのおひっこし	木村 研／文 村上 康成／絵	ひさかたチャイルド	Eム
だじゃれすいぞくかん	中川 ひろたか／文 高畠 純／絵	絵本館	Eタ
ももたろう	まつい ただし／ぶんあかば すえきち／え	福音館書店	Eア・ニホンムカ